

(特非) 河北瀉湖沼研究所

カーボン・オフセットの活用を展望した 協働による水辺と農地の保全活動の推進

イベントの 延べ参加者数	487人
活動掲載ホームページの ページビュー数	59,256ビュー
活動の全体目標 に対する達成度	70%



ヨシの刈り取りによる水辺保全活動

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 外来植物除去活動やヨシ舟体験等活動全体の参加者は、のべ349名となり、無農薬の協働米作りは全体でのべ138名で作業した。前年度と比べ、水辺と農地の保全活動に、さらに多くの人に関わるようになった。
- 工夫** 水辺と農地を身近に感じてもらえるよう、親子向けのイベントを継続し、活動の楽しい部分を出すようにした。

課題

豊かな水辺をもつ河北瀉地域では、ヨシ原の衰退や水辺の人工化、外来植物の繁茂、農業形態の変化等から、水辺や農地で多様な生物が生息できる空間が極端に減少している。

活動内容

①市民による農地や水辺保全活動促進のため、地域団体等と連携し、ヨシ刈りや外来植物除去活動等水辺保全活動、セミナー開催、ヨシ舟体験イベント等を実施した。②無農薬で協働の米作りを実施、親子を対象とした体験会3回を実施した。また、農家と協働で減農薬栽培の圃場を広めた。③活動による生産物のPRをすすめ、応援者を増やした。④実践活動によるCO₂排出削減効果、水質保全効果等の調査・研究をすすめた。



刈り取ったヨシを利用して
作ったヨシ舟体験

今後の課題

①調査・研究結果を活動成果として参加者に適切に伝え、継続した参加につなげる。②地域の企業や農家との連携をすすめる。③外来植物堆肥化について、Jクレジット制度へのプロジェクト登録をする。